

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は、8月29日に行われた青年部食育事業での集合写真です。詳細は7ページをご覧ください。



CONTENTS

- * 第31回 北海道肉用牛共進会
- * 平成27年産豆類の需給見込みについて
- * 平成27年度 小麦売渡実績について
- * しょくいくつうしん
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳
- * JAカレッジ
- * 金融共済課より
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 農家のお嫁さん
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2015. **10**
OCTOBER No.070

第31回北海道肉用牛共進会

「群出品の部」で初の最高位受賞!



第31回北海道肉用牛共進会出品結果

区分	部	審査結果	本牛名号	父牛	出品者
未經産	3部	3等賞	みつひらかつ	光平照	清水孝悦
	4部	1等賞1席	なつえ	安福久	河口賢悟
		3等賞	あやの	百合茂	大木勝彦
	5部	2等賞4席	ゆりこ	百合茂	多田将平
経産	6部	2等賞1席	あゆね	芳之国	野上稔
	7部	2等賞1席	あやみ	百合茂	清水孝悦
		2等賞5席	ふじな	忠富士	清水孝悦
群出品	10部 (繁殖群)	1等賞1席 (群出品の 部最高位)	あやみ	百合茂	清水孝悦
			ふじな	忠富士	清水孝悦
			むつき	平茂勝	神田博文

第31回北海道肉用牛共進会が9月6・7日に安平町の北海道ホルスタイン共進会場で開催されました。発育・資質に優れた牛が多い中、「群出品の部」において当JA管内清水孝悦さんの「あやみ」、「ふじな」、JA十勝高島管内神田博文さんの「むつき」で構成された3頭1群が最高位賞を受賞。「未經産の部」では河口賢悟さんの「なつえ」が1等賞1席を受賞しました。群出品での最高位受賞



清水孝悦さんの「あやみ」「ふじな」、
神田博文さんの「むつき」(群出品の部最高位賞)



河口賢悟さんの「なつえ」(第4部1等賞1席)

は当JA史上初の快挙となりました。今年には北海道内各地より選抜された106頭(雌牛群17組)が出品され、日頃の改良と飼養管理の成果が競われました。当JA管内からは7月開催の十勝共進会で好成绩を収めた7頭(雌牛群1組)が出品されましたが、うち5頭(1組)が上位入賞(2等賞以上)という非常に優秀な成績となり、春先から調教に取り組んできた出品者の方々の努力が報われる結果となりました。



野上稔さんの「あゆね」(第6部2等賞1席)

なりました。

若手での群出品、 3年目で目標達成!

当JAでは、「若手で「群出品の部」最高位を目指そう!」を合言葉に、若手生産者による群出品を2年前から行っておりまして。今年には2JAでの群出品という、初の試みとなりましたが、地域の評価につながる最高位受賞となりました。

春先の出品牛調査に始まり、毛刈りや本番前の準備など、常に生

産者同士が協力して行ってきたことが今回、実を結んだものと思われれます。

若手生産者が協力し、互いに高め合うことは今後の地域のレベルアップにつながります。今後若手での群出品を通じて、仲間づくり、地域の改良成果PRを推進してまいります。

最後に、関係者皆様のご支援、ご協力にお礼申し上げます。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)



出品牛選定から本番まで、若手が一丸となって取組みました

平成27年産豆類の需給見込みについて

(1) 作付面積の推移（普通大豆を除く）

品種別の北海道・十勝作付面積（前年対比）（単位：ha）

品 目	H 27		H 26		H 27－H 26	
	北海道	十 勝	北海道	十 勝	北海道	十 勝
小 豆 類	21,520	13,597	26,300	16,488	▲4,780	▲2,891
大 手 亡	2,760	2,499	2,240	2,032	520	467
赤系金時	6,059	5,238	5,550	4,737	509	501
黒 大 豆	2,225	390	2,266	555	▲ 41	▲ 165
豆 類 合 計	32,564	21,724	36,356	23,812	▲3,792	▲2,088

小豆類の面積については、全道で前年比▲4,780ha、十勝では▲2,891haとなっており、大幅に面積が減少している結果となっています。

大手亡については、小豆、ビート等からの作付転換があったことから2割程度増加している状況です。

金時の作付につきましても、小豆からの作付転換で、十勝を中心に面積の増反となっており、黒豆につきましても、十勝は減少しているものの、全道では前年並みの作付となっています。

豆類の全道での作付面積（普通大豆を除く）は、32,564haで昨年比▲3,792haとなっておりますが、普通大豆を含めると昨年と比較し面積は微増となっています。

十勝では豆類面積（普通大豆を除く）は、21,724haで前年比▲2,088ha、普通大豆を含めると前年比▲150haと言う結果になっています。

(2) 平成27年産道産豆需給見込み

品目別生産量から次期繰り越しの推算（単収は予想単収）

品 目	H27面積 (ha)	予想単収 (俵/10a)	生産量 (俵)	商品化量 (俵)	前期繰越 (俵)	年間消費量 (俵)	次期繰越 (俵)	在庫増加率 (次期繰越÷ 前期繰越)
小 豆 類	21,520	4.6	983,500	934,300	950,600	937,700	947,200	100%
大 納 言	1,370	4.1	50,800	48,300	71,500	82,000	37,800	53%
大 手 亡	2,760	4.9	136,100	129,300	83,000	85,700	126,600	153%
赤系金時	6,059	3.3	198,900	189,000	111,500	159,300	141,200	127%
光黒大豆	2,225	4.1	91,700	87,100	74,000	111,000	50,100	68%
計	32,564		1,410,200	1,339,700	1,219,100	1,293,700	1,265,100	

※予想単収は平年作、年間消費量はH26年産の見込み

※大納言は、小豆類の内数

- 【小豆】 平成26年産において、十勝を中心に作柄は良好であったことから、供給量が増加しております。
平成27年産小豆につきましては、供給量の増加により作付面積は減少しておりますが、現時点で概ね1年分の在庫状況が見込まれております。
- 【大納言】 平成26年産において、全道で作柄が良好であったことから、大幅な繰越数量となりましたが、面積が半減したこともあり、需給のバランスは改善される方向となっております。
- 【大手亡】 繰越数量が増加となっている現状に加え、本年の作付が2割増えていること、また豊作基調であることから、相場は厳しい環境となることが予想される状況にあります。
消費の掘り起こしが大きな課題となります。
- 【赤系金時】 平成26年産の作柄が良かったことで、供給量が大幅に増加している状況にあります。
平成27年産も作付面積が増加したこと、豊作基調により、相場は落ち着くものと予想されております。
- 【黒大豆】 平成27年産の作付は十勝地区で面積が減少しておりますが、全道ではほぼ前年並みとなっています。
前期からの繰越分が消費されている状況にあり、少しずつ環境が改善されています。

(3) 今後の情勢

- 【小豆】 消費につきましては、コンビニ業界で使用量が増加していますが、和菓子メーカーを中心にやや減少しております。
現在の在庫状況から考えると、厳しい相場環境となることが予想されます。
輸入小豆は輸入枠の減少と円安で価格も上昇していることから、道産需要の確保を積極的に行い、需給改善をめざすことで、再生産価格を確保できる価格帯での作付が必要となります。
- 【大納言】 繰越量が大きく増加してはありますが、改善の兆しが見えております、但し、大幅な価格安による需要の喚起によるものと考えられることと、普通小豆の在庫が潤沢であるため、今後のユーザーの動向を注視する必要があります。
- 【大手亡】 大手亡の販売面において、ここ数年の供給不足から、大手製餡、製パンメーカーが安価な輸入原料にシフトしたことから、国産の消費が減退しています、国産と輸入の価格差も広がっており、需要の喚起が必要となっております。
輸入品使用メーカーの道産への切替を推進する等、適正な在庫への改善が求められる状況です。
- 【赤系金時】 ここ数年の高値により、煮豆向けにおいて大きく消費が減退しております、製餡向けは輸入品の高騰により消費は伸びている状況です。期首供給量の大幅な増加で、在庫量も増えており、煮豆メーカーへの需要の回帰を図ることが早急の課題です。
- 【黒大豆】 近年の作付の減少で、繰越量が改善されてきてはありますが、皮切れが多いことから、十勝産黒豆の動きが鈍い状況にあるのも事実であるため、品質向上の取組を十勝全体で考える必要もありそうです。
当JAでは、本年も収穫目安の事前の水分調査を実施致しますので、ご協力をお願いします。

尚、JAでは、需給動向を含む市況、生産状況を十分調査し、買取して参りますので、農協へ全量在庫頂きますようお願い致します。

平成
27年度

小麦売渡実績について

平成27年度の小麦受入れについては、昨年より4日早い7月20日から開始されまして雨で中断することもありましたが、8月3日をもって（実質11日間）無事終了することができました。これも生産者の皆様のご理解とご協力によるものと厚くお礼申し上げます。

9月15日で売り渡しが完了し、等級は全量1等となりました。反収は過去最高となり、売渡数量で12.6俵、製品歩留も97.0%と昨年を上回る結果となりました。品質面のランク区分でも蛋白、灰分、アミロ、容積重ともに基準値内となり全量Aランクとなりました。

次年度も尚一層品質が重視されますので良質麦生産に努めて頂きますよう、お願い申し上げます。

(記事・農産部施設課長 遠藤泰志)

平成27年産 小麦受入状況及び売渡実績

	平成27年実績		平成26年実績	
	きたほなみ			
刈取面積	134,389	a	132,068	a
受入原料数量	12,579,370	kg	9,348,490	kg
受入平均水分	24.7	%	24.1	%
乾麦重量	10,813,233	kg	8,078,432	kg
10a当り乾麦重	805	kg	612	kg
同俵数	13.4	俵	10.2	俵
製品対乾麦比〔(等級品+規格外)÷乾麦重量〕	96.5	%	94.1	%
製品歩留〔等級品÷(等級品+規格外)〕	97.0	%	95.2	%
売渡数量	10,120,000	kg	7,235,000	kg
同俵数	168,667	俵	120,583	俵
10a当り売渡反収	753	kg	548	kg
同俵数	12.6	俵	9.1	俵
歩留	97.0	%	95.2	%
概算単価(税込)	30.947	円/kg	19.680	円/kg
仮渡金額	313,183,640	円	142,384,800	円
10a当り金額	23,304	円	10,781	円
規格外数量	310,000	kg	365,000	kg
10a当り屑反収	23	kg	28	kg
同俵数	0.4	俵	0.5	俵
合計	10,430,000	kg	7,600,000	kg
10a当り総反収	776	kg	575	kg
同俵数	12.9	俵	9.6	俵



かぼちゃはどこだ？



たくさんとれたぞ！



おいしい！！



えだまめとるの、たいへんだ～

8月29日(土)  第3回目作業

第3回目作業を終えて

8月29日、第3回食育事業が行われました。7家族の方々に参加していただき、スイートコーン、かぼちゃ、枝豆を収穫しました。暑い中での作業となりましたが、かぼちゃの葉を踏み倒しながら、実を探して回る子供達の元気な姿に終始圧倒されてしまいました。

青年部員が子供達に収穫の仕方を教えたり、質問に答えたりと、より親交が深まったのではないかと思います。

収穫後は、青年部員で焼きトウモロコシ、茹でかぼちゃ、枝豆の塩茹でに調理して参加者全員で食べました。持ち帰って頂いた収穫物も家族の方とぜひ食べて頂きたいと思ます。

今回の食育事業は収穫という事で、店頭で買った物とは違う味を感じてもらえたのではないのでしょうか。また、保護者の方からかぼちゃの保存方法、食べ頃等の質問があり、これも食育事業ならではのものだと思います。

(記事・青年部 神谷英祐)

女性部

女性目線からの農協事業へ 意見・要望が多数出される ～女性部三役・支部長と 大塚常務との懇談会を開催～

8月18日（火）に農協大会議室において、女性部三役・支部長8名と大塚常務、折笠金融部長の参加のもと、女性部と農協の懇談会を開催しました。

この懇談会は、農協の事業活動に女性の意見を取り入れ、より良い事業活動の運営と女性の方にも農協を更に知ってもらう事を目的に開催しています。

懇談会の前には平成27年度の新入職員の紹介と、大塚常務より農協の事業目標やJ A北海道大会の組織討議資料について説明があり、折笠部長からは女性部貯金についてのお話がありました。

この新入職員の紹介も、女性部からの「新しい職員の顔や名前が分からない」という要望に応え行われました。

懇談会では女性部より、農協の分煙環境の整備や総会などの記念品、Aコープ店への要望などが多数だされ、大変有意義な懇談会となりました。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

新入職員の紹介



明治十勝チーズ館にて



こだま会

明治十勝チーズ館・ 帯広競馬場を見学 ～こだま会 1日研修～

8月31日（月）に、こだま会では1日研修を実施し、会員8名の参加のもと芽室の明治十勝チーズ館（十勝工場）と帯広競馬場を見学しました。

チーズ館では、チーズの歴史と工場内を案内して頂き、最後は商品の試食もさせていただきました。チーズには、牛乳を固めて発酵熟成させた乳酸菌が生きているナチュラルチーズと、ナチュラルチーズを加熱溶解し再び成型したプロセスチーズの2種類があり、この十勝工場ではナチュラルチーズを製造しています。帯広競馬場では、とかちむらの産直市場や馬の資料館を見学し、今回のお楽しみでもある馬券を購入し、ばんえい競馬を楽しみました。

参加された皆さんは、「楽しかったね～！」「良い思い出になったね！」と1日を振り返りながら自宅への帰路につきました。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

ばんえい競馬のレースを観賞





十勝☆夢millにて

女性部

日農機製工株式会社と 十勝☆夢millを視察 ～農政協女性部研修会～

池田町農業構造政策推進協議会（会長：勝井町長）主催による、池田町女性農業者向けの研修会が8月21日（金）に開催され、JA

十勝池田町・JA十勝高島の女性部・フレッシュミズと事務局を合わせて総勢28名が参加しました。研修では、まず始めに足寄町の日農機製工株式会社を訪問し、ビートハーベスターの溶接工程や工場内を案内して頂き、設計図や工場内の機械などはパソコンソフトを使用して行われておりました。また、溶接や塗装などで汚れた空気を工場の外に出し、工場内に綺麗な空気を取り込む工夫もされていました。

午後からは、音更町の小麦ロール製粉工場・十勝☆夢millで、事業内容と工場内を案内して頂きました。この工場は、製粉工場としては十勝で初めて2011年7月に出来た工場で、小麦の集荷・製粉作業を行っています。小麦を出荷できるのは「チホク会」という生産者グループに加入している生産者のみで、現在5品種の小麦を取り扱っているとの事でした。

参加された女性部の方は、普段使用しているビートハーベスターが実際に製造されているところやJA以外の工場を視察し、部員の視野が更に広がる充実した研修となりました。

（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

はこべの会

新鮮! 採れたて野菜を 格安で販売! 売上金は 池田町と社協へ寄付 ～ふれあい広場2015～



沢山のお客様が訪れました

8月30日（日）に田園ホール前庭にて池田町社会福祉協議会主催の「ふれあい広場2015」が開催され、はこべの会では会員11名が野菜や花など約30種類以上・450点を持ち寄り販売しました。

このイベントは社会福祉協議会が毎年、「ふれあいで生まれる正しい理解」をスローガンに、障がいのある方や高齢者も地域の中で安心して豊に暮らし、地域に住む住民がともに手をたずさえ希望を語り合える広場を目的として開催されています。

当日は販売開始前からお客さんが野菜の前に立ち並び、開始と同時にお客さんが更に詰めかけ、30分ほどで持ち寄った野菜の半分以上がなくなる大盛況ぶりでした。

また、毎年はこべの会では売上金を寄付しており、今年は池田町と社会福祉協議会に寄付されました。参加頂きました会員の皆様、大変お疲れ様でした。（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

実際に写真を撮りながら研修



HP運営委員会

より情報が伝わる 写真を目指して!

～HP・広報写真研修会を開催～

8月13日（木）に農協大会議室において、十勝毎日新聞社池田支局・井上朋一支局長を講師に迎え、職員16名の参加のもと写真研修会を開催しました。

この研修会は、職員個々の写真技術の向上を図り、農協広報誌やホームページなどに掲載する写真を、より皆さんに「情報が伝わる」写真にすることを目的に行いました。

井上支局長からは、まずはブレを起こさない事と水平を保つよう気をつける事が大切で、目的によって写真の撮り方も変わるとのお話があり、研修では実際に1人ひとりがカメラを持って、2人1組やグループになって写真を撮る実技研修を行いました。

これからも、皆さんに伝わる広報・ホームページを目指して、写真撮影のスキルアップを行っていきたいと思います。
（記事・営農部営農課 遠藤由梨）

講師からのアドバイス



JA十勝池田町ホームページ更新中！是非、ご覧ください

「<http://www.ja-tokachiikedacho.or.jp>」または「JA十勝池田町」で検索してください

年金友の会

年金友の会 第37回パークゴルフ大会

8月26日に清見パークゴルフ場において、年金友の会第37回パークゴルフ大会が開催されました。42名の会員の方が参加され、好天の下での開催となりました。参加された方々は親睦を深めながら、プレーを楽しんでおられました。参加された皆様大変お疲れ様でした。成績は次の通りです。

【男性の部】

優勝＝野尻信夫さん 準優勝＝神谷隆之さん 3位＝田中謙一さん

【女性の部】

優勝＝北村恵美子さん 準優勝＝丹羽久子さん 3位＝吉田繁子さん

（記事・営農部営農課 杉山淳史）

入賞者の皆さん



シリーズ
協同組合と報徳

No.13

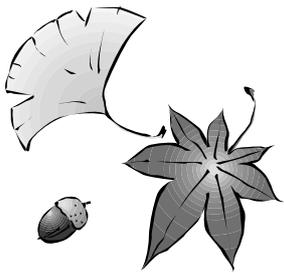
情と欲を
制する

「人の道は、欲を抑え、情を制して、つとめ努めて成り立つものだ。」
 人の道というものは人造のものだ。だから、自然に行われるところの天理とは別ものなのだ。天理とは、春は小字、秋は枯れ、火はかわいたほうに燃え、水は低いほうに流れるというように、昼も夜もめぐり動いて永遠にかわらないものというのだ。
 ところが人の道は、日夜人力を尽くして成り立つも

のだ。だから自然にまかせれば、たちまちすたれて続くことはない。それゆえ、情欲のままにしているのは、人の道は立たないのだ。
 たとえば、広くはてしない海上には道がないように見えるけれども、航路を定めてこれによらなければ暗礁にふれることになる。道路も同じことで、これによらずに自分の思うままに行けば突き当たってしまうし、言語も同じことで、思うままに言葉を出せばたちまち争いを生ずる。だから人の道は、欲を抑え情を制して、努めて成り立つものだ。
 うまいものを食い、良い

着物を着たいのは生まれつきのものだが、これを改めなおし、好む酒を控え、気楽に何もしないでいることを戒め、欲するところの美食・美服を抑え、自らの分の範囲内で生活をして余裕をもち、他人にも譲り将来にも譲らなければならない。これを人道というのだ。

(北海道報徳社
 報徳生活読本より)



大学・短大・専門学校生大歓迎

JAグループ職員養成校

JA カレッジ

●60名 ●1カ年、全寮制

●満24歳未満(27年4月1日現在)

男女共学

JA、JA関連団体・会社へ就職

●大学、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込

●試験日:12月8日・9日 ●願書受付:9月8日~11月10日 ●学校見学もできます

お問い合わせ
 資料請求

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

(JAカレッジ) ☎0120-918-417

JAカレッジ 検索

金融共済課より

祝年金

ご予約・ご指定・ご変更は、
あなたに身近なJAバンクへ!

気軽に相談できる!

JAバンクはご面倒な受給開始の
お手続きをお手伝いします。

どこでも引き出せる!

全国のJAバンクはもちろん、コンビニ、
郵便局などのATMがご利用になります。

どなたでもOK!

JAとのお取引が初めてという方も、
お気軽にご相談ください。

JAバンク北海道 年金お受取キャンペーン

2015.9/1※ - 12/30※

①年金のお受取口座をJAにご指定・開設の方に ②すでにお受取の年金をJA口座にご変更の方に ③将来の年金のお受取口座をJAにご予約の方に

「相田みつを年金証書ケース&縁起もの図柄ふるしき」セットプレゼント!



縁起もの図柄
ふるしきはいずれも
1点に当たります。
お受取の図柄は、お受取の
図柄に限定してお受取の
図柄の図柄をお受取の
図柄にてご受取ください。

まずはお近くのJAへご相談ください!

JAバンク北海道
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

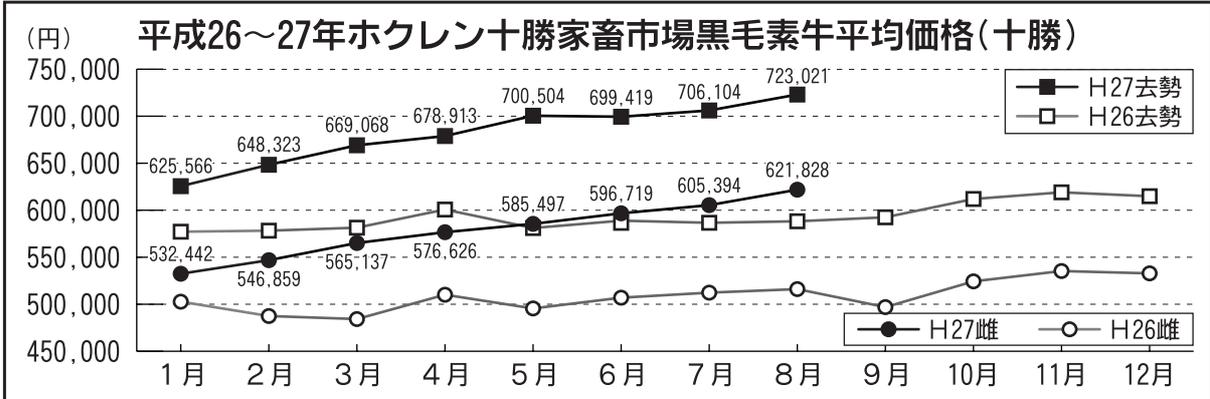
※キャンペーン期間はJAによって異なる場合があります。お近くのJA
にてご確認ください。プレゼント品は数量に限りがあります
ので、ご了承ください。

お問い合わせ

JA十勝池田町 本所 ☎ 015-572-3131
支所 ☎ 015-572-3132

畜産部通信

畜産部
畜産課



8月黒毛素牛出荷区分別成績

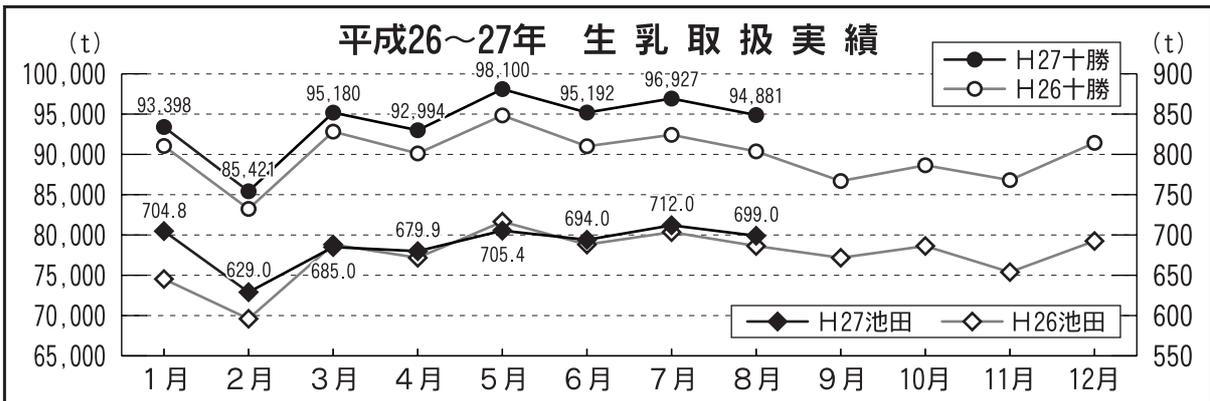
【金額(円)】

去勢	池田	十勝	雌	池田
和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛	和牛素牛
マニユアル参加牛	マニユアル参加牛	マニユアル参加牛	マニユアル参加牛	マニユアル参加牛
マニユアル認定牛	マニユアル認定牛	マニユアル認定牛	マニユアル認定牛	マニユアル認定牛
取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数	取引頭数
平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)	平均価格(税込)
参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率	参加率・認定率

8月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
1日	黒毛去勢	A-5	2,262
		A-4	2,202
		A-3	2,049
	黒毛メス	A-5	2,327
		A-4	2,230
		A-3	2,049
	F1去勢	B-3	1,523
		B-2	1,425
	F1メス	B-3	1,503
B-2		1,370	



8月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
6日	乳牛育成	336	319,172
27日	乳牛初妊	673	610,348
	乳牛経産	97	354,841

8月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	64,753
F1オス初生	215,461
F1メス初生	157,183
廃用牛	201,798



東台1地区
寺井 宏行 さん
(35歳)



プロフィール

家族は宏行さん、妻・由佳さん、長女・みつきちゃん、長男・遥哉くん、父・啓悦さん、祖母・キヨ子さんの6人家族で畑作を営む。

池田高校から当時の帯広コンピュータ・福祉専門学校（帯広コア専門学校）に進学し、卒業後に帯広・室蘭で会社員として6年ほど勤めたのち就農。今年で就農9年目。

子 どもの頃から車や作業機械などが好きで、小学生の時の文集に、「将来、農家になる！」と、機械に乗れるという理由で書いていました。と笑いながら話してくれたのは寺井宏行さん。

池田高校から当時の帯広コンピュータ・福祉専門学校（現・帯広コア専門学校）に進学し、卒業後は携帯電話の販売店に帯広で4年、室蘭で2年ほど勤め、両親が体調を崩した事をきっかけに就農。今年で9年目。就農して一番苦労したことは、作業内容が分からなかった事。「何をしたらどうなるのか、要領が分からずタイミングを逃す事が多かった。」

たし、1人で黙々と作業をする人なので、作業内容のやりとりでケンカすることもあった。」

営農計画書や税金関係は就農当時から、母・多美子さんが亡くなるまで一緒に作成しながら教えて貰い、一昨年、啓悦さんから宏行さんに経営移譲してからは、作業全般を行う。

「経営が変わる前は、使われている身」と感じだったが、経営移譲してからは気持ちが変わった。」

青 年部活動について聞くと、食育事業が一番印象に残っているそう。最近、なかなか定期的に手伝いに行く事が出来ないが、「家族で農業がどういうものなのか、理解して貰える大切な機会として、とても良い活動だと思っている。」

また、農業祭での農産物販売を手伝うのも、「以前販売業をしていたこともあって楽しい」と話す。

今 後の目標としては、面積を増やす事や新規作物なども考えてはいるが、「まずは今の面積で作付するものを調整しながら、長いもの面積を増やしていきたい」と話してくれた。





青山2地区

やま うち ま ゆみ
山内真弓さん
(36歳)

家族構成

夫	道治さん	(38歳)
長男	唯楨くん	(6歳)
長女	香凜ちゃん	(4歳)
次女	愛莉ちゃん	(2歳)
義父	孝一さん	(66歳)
義母	幸江さん	(62歳)
義祖母	ヤ工さん	(90歳)

今日は、元気いっぱいの3人のお子さんを育てる、
山内真弓さんの紹介です!

- Q** 出身地は?
A 音更町です。
- Q** 池田町の印象は?
A 独身の時にアイスを食べに1年に何回か来ていたのですが、いつも何も無い町・小さい町だなと思っていました。
- Q** 趣味・特技・マイブームは?
A 毎日、子どもの事で忙しくなかなか時間がとれませんが、たまに家族でカラオケ・釣りに行って楽しむ事が、私のマイブーム!?(笑)
- Q** 旦那さんとの出逢いは?
A 女性交流会で出会いました。
- Q** 結婚する前は何をしていましたか?
A 10年ほど歯科助手をしていました。
- Q** 農家のお嫁さんになる事に不安はありましたか?
A まず田舎すぎて、まわりに何もなくてびっくりしました。それが一番かな…?
- Q** 農家に嫁いで良かった事は?
A 野菜を食べられる事です。
- Q** フレッシュミズに入って活動してみても、どんな所が良いですか?
A まだ参加した回数は何回かですが、色々なお話しをして楽しいです!
- Q** これからの抱負を一言!
A 何事にも頑張っていきたいです。



理事会の動き

第 7 回

〈平成27年9月29日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 小麦の売渡実績について
- (2) 農産物の生育状況について
- (3) 農産物の集荷状況について
- (4) 共計品の精算について
- (5) 組合財務の現況について
- (6) 8月末仮決算について
- (7) 余裕金運用状況報告並びに保有目的区分について
- (8) 反社会的勢力排除対応管理先対応状況報告について
- (9) JA共済コンプライアンス点検の実施結果について
- (10) 内部審査及び内部監査報告について
- (11) コンプライアンス事故報告について
- (12) 「第28回JA北海道大会組合員討議」意見集約の報告について
- (13) JA全国監査機構一般監査における事務整備を要する事項について

★ 議 案 ★

- (1) JA全国監査機構一般監査における監査結果について
- (2) 組合員の出資金持分譲渡承認願について
- (3) 組合員の相続による持分譲渡と新規加入承認願について
- (4) 自治監査報告書について
- (5) 地区懇談会の顛末とその対応について
- (6) 個人情報保護に関する規定類の改正について

今月の1枚



みんなで牛乳を飲もう!! ～女性部・牛乳消費拡大PR～

今月の1枚は、8月11日(火)にAコープ利別店内で行われた、「牧場ママの牛乳試食会」での1枚です。これは、AコープチェーンとJA女性協議会の共催で行う牛乳の消費拡大PR活動で、当日は女性部三役が牛乳と混ぜて作る「フルーチエ」を、お客様に提供しました。

最近、朝晩の冷え込みが強くなってきましたね。夏も終わりを告げ、秋のシーズンがやってきました。スポーツの秋・食欲の秋・読書の秋・芸術の秋ですね。全ての秋を一日で満喫するのは難しいですが、余裕があるなら色々体験したいものです。計画を立てて楽しい秋を過ごしたいですね！

農作業も終盤を迎えてきました。今一度、安全確認・体調に気をつけながら農作業を行って頂きますよう、お願い致します。

(杉山)

編
集
後
記